STEAM Lab

国立大学法人 北海道教育大学附属函館中学校

学校紹介

本校は、北海道教育大学函館校の附属学校です。「自主」、「明朗」、「知徳」を校訓とし、「強い意志をもち、自主的に行動し、創造性に富む生徒」、「心身ともに健康で明るく、情操豊かな生徒」、「知性を磨き、真理を愛し、自ら努力する生徒」、「秩序を守り、仕事に責任をもち、実践力のある生徒」、「学校や郷土を愛し、よりよい社会の建設に協力できる生徒」を教育目標として取り組んでいます。

本校の特色ある教育活動としては、ICT を活用した教育において、平成26年度より１人１台のタブレット端末の導入と、家庭への持ち帰りを実施しております。平成28年度には、Google for Education(現Google workspace for Education)の利用、平成29年度には保護者のご理解をいただき、BYADでの１人１台PC端末(Chromebook)での教育活動を行って参りました。この６年間の取り組みで、先生も生徒もChromebookを普段使いするようになり、本校の教育活動にはなくてはならないツールとなっています。

STEAM Lab ご紹介

導入機器・ソフトウェア

- 株式会社日本HP
  EliteDeskシリーズ
  HP EliteDesk800 G6 TWR/CT 15台
- 27 インチ液晶モニター、3D プリンター
- Adobe Creative Cloud 小中高校サイトライセンス

STEAM Lab よりご提供いただいたパソコン 15 台、および 3D プリンターはパソコン室に設置しております。もともとパソコン室にはデスクトップ・パソコンはなく、学校で保持しているラップトップ・パソコンや Giga スクール端末などを保管しておりました。このパソコン室は、特別教室棟にあり美術室や理科室などからも非常に近く、生徒が学習活動の中で使用したいと感じたときに手軽に使用できる環境になっています。

令和４年５月現在は、ご提供いただいた Adobe のアプリケーションのパッケージを導入し、ビデオ編集や描画などができる状況となっています。

授業での活用、放課後など課外での活用

本校では、探究的な学びを教育活動の中で実践するために、総合的な学習の時間を「探究」と呼称し、探究的な学習の過程をスパイラルに展開、生徒が自ら学び続けることができるカリキュラムを編成しています。自ら考え感じた問いや、社会が抱える問題に対して、各教科で身に付けた見方・考え方を用いて、さまざまな視点から追究し、それを他者へアウトプットする活動を行っていくことで、深い学びを実現しております。そのアウトプットの部分では、プレゼンテーションや論文などを課題としていましたが、さらにアウトプットする対象に合わせた表現方法を広げるためには、新しいツールが必要だと感じました。今回ご提供いただいたデスクトップ・パソコンでは、統計的な数値の処理や動画、イラストなど、現在行うことができなかったさまざまアウトプットの方法が可能となります。生徒が自分の考えをどう表現するかの選択肢を広げることができ、さらなる可能性を感じております。

現在、先述した総合的な学習の時間での表現方法の１つとして STEAM Lab の使用を予定しています。また、教科指導では理科の実験動画作り、美術でのパソコンでの描画、特別活動では学校祭の動画コンクールの動画編集などを予定しています。ご提供いただいた機材を活用し、生徒自らがよりクリエイティブな活動を行えるであろうと大変期待しております。

ダイワボウ情報システム株式会社

Intel、インテル、Intel ロゴ、その他のインテルの名称やロゴは、Intel Corporation またはその子会社の商標です。
その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。
©2022 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。